

会員生協の活動報告 & 予定案内

福井県民生協

ふくいレインボーファーム 応援団・きらめき応援団 募集中!!

昨年1月設立した農業法人「ふくいレインボーファーム」では、現在あわら農場で露地園芸を、つるが農場で水田園芸や果樹栽培を行い、ハーツで販売し好評を得ています。同時に登録制による「レインボーファーム応援団」を募集中です。野菜の種まきや植え付け、草刈や間引き作業など体験を通じてお手伝いを頂いています。17年度は体験農場で家庭菜園体験も予定しています。



▲玉ねぎの種植え体験

また介護施設きらめき(県内11箇所)では、趣味や特技を生かして施設でボランティア活動していただける方を募集しています。ボランティア活動を通じて、自分の生きがいづくり、地域づくりに一緒に取り組みませんか。応援団に登録いただくとポイントカードを発行します。1活動につき1ポイント、10ポイントでハーツ・宅配で使える500円商品券としてご利用いただける特典もあります。

福井県労済生協

第3回地区幹事会・第2回地区推進委員会の開催報告

2016年12月1日から12月14日にかけて、各地区で第3回地区幹事会および第2回地区推進委員会が開催され、2016年度上半期の活動状況と下半期活動の補強策について確認がされました。

下半期の活動として、年間の重点取り組み課題である保障設計運動や保障点検活動の補強策と、自賠責共済の推進活動を強化し全地区合計で年間300件の加入目標を目指して取り組みをおこなっていくことが確認されました。



【各地区 開催日時】

地区名	開催日時	
	第3回地区幹事会	第2回地区推進委員会
福井北	12月 1日(火) 18:00~	12月 5日(水) 18:00~
福井南	12月 7日(水) 18:00~	12月 9日(金) 18:15~
坂井	12月 8日(木) 18:00~	12月13日(火) 18:00~
丹南	12月 7日(水) 18:30~	12月12日(月) 18:30~
奥越	12月 6日(火) 18:00~	12月14日(水) 18:00~
嶺南	12月 8日(木) 18:30~	12月13日(火) 18:30~

福井県医療生協

「坂井助けっとの会」活動

医療生協坂井ブロックでは昨年、安心して住み続けられる街づくりを目指して組合員同志の助け合い組織「坂井助けっとの会」を創り11月から活動を開始しました。現在協力者(助けてあげるボランティア)の登録が27名で利用者(助けてほしい人)の登録が10名です。

坂井ブロックの中での利用者は丸岡町の方が中心で、春江町、坂井町の方からもありました。少しずつ「口コミ」でひろがりつつあります。依頼内容は、自宅周り粗大ゴミの片付けや塀の蔓の始末、換気扇掃除、障子張替えなどがありました。春以降に草むしり、庭木の選定、花の植え替え、風呂場の清掃、畑除草剤散布、枝打ち、話し相手、買い物代行などの活動が予定されています。



「やすらぎ清間」でもちつき交流会

あわら市清間地区で高齢者が集う介護予防拠点施設「やすらぎ清間」において、昨年12月13日に恒例の「もちつき交流会」が行なわれました。毎年楽しみに待っている利用者さんなど34名が集いました。

「やすらぎ清間」の屋外ではテントの中で医療生協のボランティアさんが杵を持ってもちつきに参加し「おろし、きなこ、つぶあん」にまめめられ参加者に振る舞われました。屋内でもインストラクターによる健康体操で身体を動かし、ボランティアさんによる三味線と踊りが披露され、年の締めくくりに笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。



菅浜生協

千灯

8/20(土) 恒例の千灯と豊年踊りが神社広場で行われました。千の灯がともる中、多くの出店で賑わいました。終盤には菅浜の伝統である豊年踊り、その後大抽選会が賑やかに行われ、今年の夏を締めくくりました。菅浜生協もビール・ジュースを販売しました。特に生ビールが一番人気でした。



ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2017年3月10日 No.114

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

冬季役職員学習会を開催しました 樋口恵子氏講演会

11月4日(金)、アオッサ6階・福井市地域交流プラザ研修室601にて、樋口恵子氏による講演会「超高齢社会をどう迎えるか」を開催いたしました。

参加者は、会員生協様からの45名を含む、合計67名となりました。

人生100年社会・ファミレス社会(親族が激減した社会)を迎える日本。もはや「血縁」に頼るケアでは立ち行かない



こと、それに替わる「地縁」によるケア=ケアの地域社会化が急務であることをお話いただきました。その中において、食や地域見守りなど、生協のできることが数多くあるということに触れられ、生協の使命と役割を改めて認識した意義深い講演会となりました。

ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。



協同組合の思想と実践がユネスコの無形文化遺産に

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は11月30日、エチオピアのアディスアベバで開催された無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会において、「共通の利益の実現のために協同組合を組織するという思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録を決定しました。

《日本生活協同組合連合会 ホームページより》
ユネスコは、協同組合を「共通の利益と価値を通じてコミュニティづくりを行うことができる組織であり、雇用の創出や高齢者支援から都市の活性化や再生可能エネルギープロジェクトまで、さまざまな社会的な問題への創意工夫あふれる解決策を編み出している」としています。

協同組合は、人々の自治的な組織であり、自発的に手を結んだ人びとが、共同で所有し民営的に管理する事業体を通じて、共通の経済

的、社会的、文化的なニーズと願いをかなえることを目的とした組織です。19世紀に英国やドイツなど各国で生まれた協同組合の思想と実践は、全世界に広がり、現在は、世界100カ国以上で10億人の組合員が協同組合に参加しています。

日本には農林漁業協同組合、労働者協同組合、労働金庫などさまざまな協同組合があり、生活協同組合(略称:生協)も数ある協同組合の一つです。

福井県生協連合会はこの登録を喜びをもって受け止め、国内外の協同組合と協力・連携し、よりよい社会を作るための努力を継続してまいります。